

バストス週報

青嵐

三羽鳥を勞わろう

三羽からすというのは募金三羽鶴のこと、総合会館建築費の募金懇親隊員の称である。昨年八、九月の候、バスタス総合会館建設案が生れ、この建築費を主としてバスタス内で、足りぬ所をバスタス外部からの寄付で彌おうということになつた時、誰が募金陣頭に立つかとこれがそもそもその要衝であり難関である。手手などとして最初のふみ出しが譲まると、集まる金も集らぬ羽目になるかも知れぬへこくなことを例に上げてはよくないがかつてイタレージヤ完成の募金をリーフでやつたことがあるが、上成績ではなむつたようだ。

えていたが、結局吉浦秀次郎、吉田光三
吉、樋原義一の三氏が自発的に立ち上
て、之れを最後の御奉公に^{みゆき}を相合言葉
として実行に移った。
バストスではこの三老のこと、何時と
はなしに三羽鳥と呼ぶようになつた。戦
は、大体大頭目級で十万コントを収え、
あとの大頭目級で五万コントを一般からと目標を立
て、A級三十、B級三十、C級三十で
之を大頭目というのだが、實際募金に当
口が出て、それに次ぐのが三千コントと
いうから番狂わせもあつたようだ。三羽
鳥は重いに皆一般どころの事業家だから
人に出させるには必ず自分たちからと
とはかり精一はい多額に書いて目標を示
し範を示した。この作戦は大変好感を持
たれたようである。その位なら才人も出
せる。二こと狙ひを、つけた処で易々として同
意してくれる人、中々応じない人、世相
さままだが、中には三羽鳥にううみを
抱いた人も一人や二人はあつたであろう。
腹工合の悪い人には無理な声とさへ元
ることもあつたであろうが何分の大仕事
であるから多少そういうことも考慮の一
失とれて許容して上げていただきたい
募集は昨年三ヶ月で十万を突破し本年
三月迄で十五万の線に達したといふこと

第八三一号
昭和四十一年
三月二十五日

發行

DIRETOR
KOTIMORI

REDATOR
SHTETL DDA

PLA PRES.
ARGAE 188

C. POST. 112
EDNE 40

BASTOS

ANUAL
CR. \$
4 000



各 菜 局 に あ り ま す

Sapataria Basta

早川軒店

FONE



ところが建築資材は昨年七月頃と比べべ
て三十%位は騰貴しているので、今すぐ
建築にかかると少しも、初めの見積より
三十%高となろし。来年(六七年)建築と
ても更にいくうかの歩増しを覚悟しなけ
れはならぬ。

上へたが、前述の理由更に資材賄費分だけ作り出さねなりぬといつてゐる。

今日まで半歳にわたつて、これなりの枚額を上ひたことは三羽鳥にとつては偉大な行績といわねばならず。到底普通人のよくなし得し得ない業である。

しかし、ここに一つの「憂」を報告しなければならぬ。三羽鳥の内でも最も健

康と尊つていいた梶原氏が二ヶ月程前から

からだの不調に気付き、ハパンの野口ド

トルに詮てもうつた處、心臓が弱つて居る上に血圧にも異常あり、すべから

静養を要すとの事だ。梶原は余り気

にもかけず、どこも悪くないのに寐てばかり居られるかと、あいかわらず三羽行

き著にしていたところ、額や手足に水腫動

き發したので文場の人々が驚き、いやが腫動

を本人を車にのせ野口先生の所へ連れ

い、たあとなし野口先生は顔色をかえ

て梶原氏の生命を保證しないといふ

る本人大切なかつたのである。無理なまね

して倒れられは大変と考えるのは当然

である。ところで奉賀植に募金を詰入した方々

には喜んで詰戴した人もあろうし、淡々書

いた人もあるが、幸い養鶏景観委員會

に恵まれ大人が大部分であるから、ほ

ところで奉賀植に募金を詰入した方々

には喜んで詰戴した人もあろうし、淡々書

いた人もあるが、幸い養鶏景観委員會

住作

丹下セツ子一座 来演

予告 来る四月四日(月)

午後七時と午後九時 久回公演

場所 シネバース

特別出演

日本舞踊

中下セツ子

日舞洋舞

清下セツ子

歌舞曲

月人

芝居 明治一代女乙の吉殺し

当日は月曜日

中村錦之助「轍」の上映はあります

せん、三日(日)だけです

シネバース

仙人掌社 三月作品

夜なへはけむ地球の果ての果てに未 北眠

晩年を大事かられて 更衣

夫婦の道の夜なべを勵みあり

秋暮レクタの強き新鶏舎

更衣心通わぬ人となり

湖の向うの街の里 番り

○ 程度が母の注意に夜なべ止め(桂子)

これは当夜席題で作った句で、自分のこと

を平直に表現したもので、「夜なべ」の句として

表現形式が一寸變って珍らしい。近頃大

いに進境を示す

○ 更衣心通わぬ人となり(寿和)

これは当夜席題で作った句で、自分のこと

を平直に表現したもので、「夜なべ」の句として

表現形式が一寸變って珍らしい。近頃大

いに進境を示す

○ 一羽欠けた

二羽の鳥だと、あまり醜便するど、とん

な結果にならか。それでは余り惨酷では

ありませんが、と声を大にして某金の勞

を軽減するたりに御協力いただきたいと

提案するものである。某音

枝に来て羽根休め居る三羽鳥

一羽はいつも疲れしごとし

100字

3

夫妻と娘由紀子と三人で岡山県海外移住団長本田英明氏に案内せられ岡山県庁に県知事殿を訪れたのは十一月廿二日午後三時であつた。戦後立派に出走上つた六階建の大庁舎の一角 実に立派な知事室に通された。知事は香港から昨年帰られたばかりで、実に多忙の由懲念乍ら面会出来ないとして、副知事荒木栄悦氏が代理として面接せられ、聖州議長、州統領小野岡山県人会伯国会長らのメツセイジを受取られると共に遠東の労を擧うい数々の讃辞を賜わり。自分も海外にあつて始めて判る祖国の有難さ、そして在伯同胞特に岡山県人の活動情態を詰し、県費苗学生に対し今一歩積極的に渡航費の補助を県費予算に組入れられる様要請した。それは吾等の二世が祖国を知りぬ悲しさは祖国愛の精神がうすれて行くよう思れる。今日伯国で成功して居る人々は吾れ日本人也の気魄と誇りとを持つて如何なる困苦欲乏にも堪えて大きくなって来たのだ。そしてその人達は皆成功して居り、その気魄のないものは皆落伍して

言
日
見
聞
小
岡山県庁訪問記

Tempo de Alta Qualidade
Glutamato de monosódio 99.9%
SUPERAGI



サン・ハウ・市ガルボンブエー・ノ・街ニ・二番七階
発売元 遠藤貿易株式会社 提供
ス・ハ・味 たべもの屋 巡り 10
明治の味 東京上野 はんもく

近頃方々で牛めしを食わせる店が多くなつたが、薄草の
牛台で食わせたような味は、もえない。この店のはそれには
近い味をのこしている。醤油の勝つた味で肉は松毛のコ
ギレを使つてゐる。お忍菴のあかすにはマスロのぶつ
り、焼サケ、煮魚、やきいが、あじひうさ、のり、納
み、わろし、みそ汁 下駄のあ台所のにおいかする。

牛肉 豚肉 鶏肉 三肉料理に

スープ味はつきもの

あいしいお食事はスープ味

豚肉 鶏肉 肉料理
バー味は つきもの
お食事はスバーバー味
で自由自在
各商店にあり



居る。しかも祖國日本は軍隊世界第一位の走評ある復興を見せ、その工業面に於ても、文化面に於ても實に驚異すべきものがある。この状態を一見したのみで二世の心中必ずや大きな民族意識と誇りを叶ひ起すであらう。この精神こそ大和民族海外發展の基礎となる最も重要な工具メソントであるか、一人でも多くの二世を祖国に送りたいけれど、悲しかな秀才は富者の家にのみは生れなべ、此の者は年なればと思う人は不幸にして渡航費が出来ないと事があり、本年はその例にもれず、折角三木知事が全国に奉先して作られた二人の衆費留学生を送ることができない事があつた有様である。此の点充分御考慮願い度い。次に海外に居る我々は祖國の一木一草にすら深い深い愛着を以つて集めて居り、岡山県から送られたシネマのフィルム、又おかもやま誌の如きどんなに在伯県民を慰めてくれるでしょう。おそらく想像以上です。現在送つていただきて居るおかやま誌三十部をせめて百部迄薫料御送付下さるよう御願いする等、その他二、三の御願いをしたところ、先方のそれだけの事はやつてみるとの御返事があつた。次に並んで寫真を撮り、メツセージを御渡しする場面へその夜テレビ放送

（）なども撮り、光榮を謝して知事室を辞去した。

1

本田氏の案内せらるるままに何處へ行くのかと從りて行くと新聞記者室で、広い室に多くの人々、事務をとる人、メイザを囲んで談笑する人、活気に満ちた室である。本田氏は歎声一番自分を紹介され、中央の大メイザの中央に自分を座らに岡山市長岡崎平夫氏の顔も見え、忽ち貢問の矢が飛んできた。海外発展の要素は何であるかとの間に對し、普通一般の考え方では、祖国との文化交流を豫調されるが、その根底をなすものは民族精神でなくてはならぬ、日独伊その他の国民性の大暑を話し、日本人の勤勉と誠実さが実を結び、各個人が成功するのみならず、伯国社会に偉大な貢献と信望とを得る墨本となり、現在二世諸君のあらゆる方面に活躍せる状況を話し、日本語並以にその必要性から伯国社会に溶け込む愚見を述べ、会談一時間余、幾度かフランチエをたかれて辞去し、本田氏の案内で米産業会館地下室の大ヒストランテの一室で六人の会食を了した。数多くの講演会を申込まれたが今月中に中国地方の観光を終つてからと云う事にして自動車で宿まで送つてもらった。

今日の光榮ある諸会見は一つに京都四郎氏の御尽力の賜物であると深く感謝しな次第である。

清潔には千春禪日明の輦が掛けてある。松の生花に赤玉美しい南天が副元され正面向には三宝には大きな鏡餅が供えられ、静かに合掌、神想觀き実慘すれば心致友諸士の風半が走馬燈の如く眼に浮ぶ。戸外に出れば昨日の雪は平地以外に十センほど降りつもリ平地は大霧のため漏日只體たる銀世界、猩々山と神嘗山と小高き山あいから晴れ渡つた大空に中野の旭日笑い出で陽光燦然と輝きたり壯麗な宇宙内に満つ、思わす今幸して指手打が、嗚呼壮な方かな、吹きかな。

御厚蘇に心氣を清め御鑑鑑に顔を満たし、盛装の分家の嫁や娘八人連れで初詣の金に上る。小学校には空高く日の丸の旗がひるがえり、民家の屋に吉越の御旗が多くのかかるけれども、アミアントの多道を走乗神社大鳥居に遡る。御側の

金一封 御
故小野文子様の香菓返
礼
として御寄贈の段譲んで拝受申上ります
ハス・ト・ス 南米本願寺
小野義種様

御
禮

故小野文子様と深悼致します。又存算込
じにて金一封御寄付下され有難く御礼
申上げます。

也求一元種子

梶田商店 又は

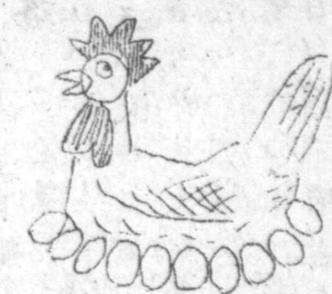
花の苗木 ばらつづじ、つはき、その他
鑑賞樹苗木 ヒマラヤ杉、松その他色々
貯蔵庫、聖市方面から取り寄せました
森林元

今日の光榮ある諸会見は一つに京都四
部氏の御尽力の賜物であると深く感謝し
な次第である。

ふるメーとの御正月 小沢勇
又は直接左記へ御いで下さり
便益します
アフレック 区
池田俊男

老松に積つた雪がパラパラと頭上に落ち
かかるのも樂しく美しい社頭風景だ。た
社前で招神歌立声高らかに奉唱す。児
島高徳像の台石には「天莫空句跋」時非
無范蓋しと十字の詩が刻まれてある。高
徳が自身を范蓋になぞらえ、その主君・越
王勾践を以て本機い出す決意を示した十字
の詩を櫻樹に書いて御醍醐帝の天覧に供
したといふ。その桜木の跡に建立せられた
大石碑の前に膝まづき膜目合掌すれば
備前守兼職誠忠無比の児島高徳は時の幕
府勤祖北條高時が後醍醐帝と隠岐の国に
移りまいわせんとしたのか、途中御輿を
奪い天皇の御世確立を期し、一族郎党を
引き具と船坂山の峠に待機していたが、
御輿を奪ひて警護の武士等は姫路近くの
今宿小日向發道に路を変更したの轍に接

5 養鶏で成功される方は、みな



トリミックス 使用されます

ニワトリの生理に欠くことであります。ビタミン各十三種 アミノ酸 ミント、鉱物、抗生物質が处方通り、投薬されています。
だからトリが強健になり、産卵が上昇するのです。

鶏の健康保証 産卵増大保証

TORIMIX

Rua Braulio Gomes 25
12 and S. Paulo

サナミックス

かせ コリー ザ
チフス コレラ

の予防及び治療剤

サナミックス会社

日本 人 部

アラハウリスタ
ハストス地方 代理人

丸 藤 本 審 博

電話 店 一五二
宅 一六八

子供の作文
ともだちへおく手紙
西川 美智子

とき子さん お元気ですか。こちらはみんな元気です。朝は早く起きてジナジオに行きます。夕方は日本語学校に行きます。私はとても日本語のベんきょううけます。また一度も休みません。バスで毎日あつい日がつづきます。きょうは朝から雨がふって学校へ行けなくなりました。もうおともだちもできました。思いました。すみません。まだ学校へ行けています。かづみさんまだ学校へ行けています。どちらのようすを知らせてください。みなさんによろしく。さよなら

美智子

とき子さん

本年度大学入学者

その一

佐藤信雄君

サンパウロ総合大学工科

コチア区佐藤ビル二階

佐々木徹君

サンパウロ総合大学工科

中村佐木久輔氏三男

遠く杉坂峠まで到ったが御輿は早くも過ぎ去ったときすすかり希望を失つた。同志の面々は散り散りになつてしまつた。唯一一人となつた高徳は一重の蓑に身をねつし帝の行在所であつた隱庄の寺を訪ね大東門内の桜樹にしひのび寄り、太師心を安んじ奉うんと幹を削つて十字の詩を書き消然として立ち去つた姿を瞼に浮べ流涕太息、しはし往時をもんだ。盛装の美女や老人三三五五と銀世界の中さながらに甘露の法雨を詠誦し深い森行き交う人々に挨拶しき氏神の社殿に声高らかに甘露の法雨を詠誦し深い森にいだかれた社内を一巡するに、古木の音にさびた石の鳥居、一つとして、目頭のあつたすまないものはない。突然呼び止められ誰であつたか思い出せす名を聞えは親しきつた旧友であつた、思わず手を握り合つて寒さも忘れ旧交を温める。着ぶくれてのろのろ歩む初詣で青空にくつきり浮かぶ雪の峯夜のテレビによると岡山市近くの高松最後の自動車旅多く延々と連なる自動車の画面がうつつた。

集卵車の特長

定期総会開催通知

行きは飼料、帰りは王子！仕事にムダがありません。七二〇卵と一千卵とニタ通りです。紙皿を使う

アラしません。又散えなくとも紙皿で少々乱暴に車を振つても卵はケガ数を教えてくれます。小供でも樂々と振える集卵車！

給桑車

養蚕家は桑運びに便利です。重い桑束をかかえて給桑は時代が古れます。給桑車にのせて、樂々と仕事をしましよう

尚、大きさ又は変形を御希望の節は、御註文に応じます。

阿部五郎

電話二八

Industria Avicola de Abe

当会定款第十八條に依り一九六五年度定期総会を次の様に開催致します。
御多忙中恐縮乍ら御総合せ御出席下さい。尚、此の広告を以つて案内状と致しますから、お誘いの上おいで下さい。

記

日時　来る三月二十七日（ドミンゴ）
第一回招集　午前十時
第二回招集　午後一時
場所　バスタス南米本願寺
議案　一九六五年度会計報告承認
正副監事選挙の件
其の他の件

一九六六年三月十五日
法人アソアソンブジスマデバスズ
代表　小林平志
会員各位

にかごうり

7 番音

事 故

お地蔵さまの靈験いと、あらたが。あれ以来さしもはげしかつたデザストレがひつたやんでもバストスにはおかまきまで悲しい話が絶えたのは何よりだ。おさかその反動でもあるまいがヒコーキ事故は近頃ひといようである。今日へ三月五日、の新聞でみると、富士山の頂上一千五百㍍といふから地上四千米の上空で英國機が一二〇人程度墜落したのが火をふき御敵場口付近に墜落したところ、事故のあたりは三月五日午後二時、英B.O.A.C.ホーリングなどの七型機は羽田空港を離陸して十二分、標高一千三百㍍の上空で発火（四十㍍は誤認）、高度が二千㍍に通りだが何れにしても墜落地上につく遅にバラバラに分解したらしい。

先月、全日航空の百人のりむ裏京湾に墜落して全員死亡。すい分派手段ものだとばかり乗せて羽田へやつて来て墜落しそこに大破炎上、八名が重軽傷、他は死なフで何という痛ましい事故がおき三月四日午後八時過ぎ、この日潔、聲のため視

野がさかず、管制塔から着陸可能の通知を受けたので、つづこんで未たらしく制塔から上空旋回の通告をえたがれを無視したのか、どういう手方が、片方が死んでしまっては、どうにもならない。ヒコーキは滑走路から七六六㍍もはなれた埋立地に激突して爆発した。ヒコーキは金曜日の旅行を思ひでいるが、やはり、いけないのか。自動車事故は三重衝突でもせぬ限り、何十人というヤセイは出ないが、ヒコーキは、死んでしまうからこねい。火だるまになつて墜落する光景はこれまでしまじいものだらうが、のつて居る人は、火だるまになつて墜落する光景はこれまでしまじいものだ。ソーナン（おうち）ひいもんだ。船の遭難は事故とは云わないと、何百人が水薙にのまれるが、これもソーナン（おうち）ひいもんだ。ああ、もう旅行などせぬに限る。七十歳までも生きた人だから、ツイテツしていいだろ？ とんでもない。

死亡通知並に会葬御礼

父、林 新作(67) 儀長らく病氣療養中の廻、薬石其の効無之、去る三月十一日午後六時逝去いたしました。依つて翌十二日午后五時自宅出棺、バストス墓地へ埋葬仕りました。此の儀生前の御厚誼を感謝し謹んで御知らせ申上ります。

尚、葬儀の節は御遠路の廻御多忙中わざわざ御会葬下さいました上、過分なる御香料或は花輪など御供え下され御芳志ありがたく厚く御礼申上げます。

実は一々御回礼致すべきですが取込み中、且つ魚人で御座いますので矢禮ではありますけれど取敢ず紙上にて御礼御挨拶後申述べます

一九六六年三月十三日

中央区一組

喪主長男

後見人

誠 雅

崎 原

清

内山

村

和彦

夫夫二勢一則造春一

西川丸白竹松杉松林

バス停 中央区一組各様
バス停 中央区一組各様
バストス連合佛教會様
サンジヨウ中学校夜間部四年生各様
バストス・仏教婦人會様
フランク製糸株式會社様
御会葬の皆様

御 礼

林 健 一

DR 田淵パウロ先生 亡父、存命中、病氣のためサンパウロに療養に連れ
サハウロ州議 京野四郎先生 て参り、病院を御世話をされ又は治療費の御負担を
小林平行様 して下さるなど、肉親も及ばぬ御援助を賜わりまし
松原雅春先生 たことを厚く御礼申上ります
ライオンスクラブの 紙上で誠に失礼とは存じますが御名前を列記して謹
皆様 人で御礼の聲申述べます。

丸山 敦 様

帰郷のうた

バストス子弟の大学入学

- (一) 久じぶりだよお久しぶり
来たか待つたよう来る
久方振りの山廻り

(二) 汗だくの暑い日
久方振りの山廻り

(三) バスで十ヶ年
鶴舎 鶴舎を見回す
良くも舊斗下された

(四) 電灯水道の設備から
去年度入植祭
移住地の支配人

(五) 清掃成バスモ墓地
皆知つたる友ばかり
墓標の前に香焚きぬ

(六) 残した方の御努力は
只々驚嘆するばかり
何から何まで行き届き
日本人ならではさきぬむが
元気を姿で面接の
老松枯れて今はなし
立ち並んだる墓石には
煙中翁の新とぞ

(七) 過去の御辛苦しおびつ
故主の寫真に合掌し
墓標の前に香焚きぬ

(八) 烟中翁を訪問す。
しばし默祈構かつて
入植当時の苦心談
聞くも語ろし皆涙

(九) 話題切れトマカフ
タワタに居られ時代から
話はづづく四時間半

(十) 又もや話を停す身自
人生苦斗の深き體
又もや話を停す身自

(十一) 五の奥へ通じけん
名残りは尽きし辞去すれば
白髪姿も痛ましや

(十二) 入植当初の貴光とは
身自は身から戸外まで
黒わず落す一としく
一日位はすぐたてまだ
バストスへ帰れば初登りを

(十三) 週報社には余音さん
週報私に届かず
バタキ交えて御協力
バタキ交えて御協力

(十四) 残した方の皆さんが
御恩は終生忘れませ
淋しい思いをしません
御恩は終生忘れませ

(十五) 体の保養たのみます
統けて下さる週報紙

スモック (落語)

ひどい煙霧の中、警戒する交通巡査の
前をあやしかな車（モーレー車）が通る。ヒリ
ヒリと停止の笛を鳴らせど、知らんかお
で走り去るので、バトカド追いかける
「ニリや、このフエカ耳に入らぬが
と叱ると
「そんなこと云つたつて、このスモック
いや見えませんよ」

在聖 落葉作市

六六年二月四日

名
位

バ
ス
ト
ス
佛
教
会

二のたび足利先生がハウリス又線
を巡回講なさいますので、前記の通り
佛教講演会を開催致します。
お説い合せ御来聴希望します。

講師 西本願寺開教使
足利昭道師

清演全

本 豊 審 マリリヤク 水木 彰氏
まだ外にも あることと存じます。御存じ
の御方はおしらせ下さい 週報社

前山昌治君	マツケンジエ科	松森苗威氏五女
山根剛君	マツケンジエ科	中央
田中幹タルロス君	サンショウゼイズ	田中聖氏 三男
岡本タクミ君	マウア工科大学	山根三郎氏 男
森田オナム君	ブルネーテ法大	中央
小林美枝嬢	聖市麿谷大薬学科	田紀光民令弟
渡辺テビウト君	ハウル法科大学	中央四組
森重紹美	ハウル法大	小林茂氏 女
信太春夫	リンス歯科大	信太順治氏 二男
早川道平嬢	マリア経済大	中央
橋修君	マリアアリ	早川栄祐氏 二女
吉田朝春君	マリリヤ	橋香雄氏 長男
吉田清君	マリリヤ	吉田朝二氏 二男
吉田清君	マリリヤ	コキヤ銀助 三男
吉田朝春君	マリリヤ	マノエルナモタ氏 二男

在聖

落更作市

ひどい煙霧の中、警戒する交通巡査の
前をあやしげな車（モノローカー）が通る。ヒリ
ヒリと停止の笛を鳴らせど、知らんかお
で走り去るので、パトカーで追いかける
二りや、この二工が耳に入りぬがし
と叱るど
「そんなこと云つたつて、このスモツク
いや見えませんよ」

茶人奇行伝聞

富武勝甫

茶の由来

日本文化の根元をなすものは仏教の伝來と、茶の湯の発達に起因することは何人もこれを否定することはあらまい。佛教は中国文化をそのままに日本に伝え、茶は日本に於て作られた文化の母である。

平安朝初期桓武天皇の延暦二十四年伝教大師が唐より帰朝に際し、茶の実を携えて帰り、叢山の麓、近江國坂本に植えたのが最初と云われる。しかし承和五年遣唐使が癪止され、日華の交通の交通が絶えて、茶は製茶技術が充分でなかつたために中断されてしまつた。

その代り万葉以降顧みられなかつた和歌が復興し、枕草紙、「源氏物語」など国文学の隆盛となつた。

平安朝末期、當時宋と称した中國との国交が二百八十年ぶりに復活し、西へ建仁寺開山)が第一に入宋し、西へ建仁寺開山)が第一に入宋し、建久年に帰国、平戸に着いて筑前賀振山に携え歸った茶の実を植えた。後宋西は京都に入り柳尾山明惠上人に柿の形をした陶器に茶の実五つを入れて贈つた。明惠はこれを持尾に試植成功し更に宇治に移植されたのが今日宇治茶の隆盛の基となる。日本的な様式を育てつつ鎌倉時代に入つた禪僧の間から武家階級へと広まり、足利時代初期にはすでに一般庶民に至るまで流行するようになつた。ついで足利三代將軍義政の頃より珠光、紹鷗を経て千利久へと茶の様式作法は道元禪師の「永平清記」の唐様から漸次日本化されて建築、造園、書道、文人画、製陶磁、漆法、美術鋳法、生花、香道などと工夫され、日本藝術の基礎を築いたのである。

閑白を恐れなかつた善口鞠

少し前置きが長くなつたが愚考済して茶道講義をするのは毛頭なり。ただ茶道史にあつた茶人の奇行を明治大正の名正より直かに承りて書き記した物語りの手順に過ぎない。

或る日豊臣秀吉は聚落跡懐雲閣の書院茶席で正午の茶事を終えて、炉辺に端座して、宗易(千利久)、宗教(南坊)を招きよせられ、茶を点てながら、宗易の方粟田口の善輔が所蔵の高麗より渡來したといふ。平取金(銭袋に似た形)を見たことがあつて、御意、善輔奴が師珠光様を口

グワルタローパ・勝手戸棚

その他いろいろ家具であります

日本からのふとん

秋風が立ちはじめました。

ふとんの用意!

ブルンボンデモーラ

フロベウ印 最上品
ジビ印 極上品
アルセ、コイヤ、ベルダウ印 いろく

Mobilharia Yaegashi

八重桜家興店

日系人見習一名

至急入用 希望者おいで下さい

車にのせて、せしめたとて自慢の名器、恩庵も良恩寺施茶の砌り兩三度拝見しましたが、いやもう格別の名品、音や渋え、肌のきめ、垂涎の限りにござります。秀吉益々機嫌よく、いかに兩人、ニれより参つて、その平取金とやら善輔より貰い受けで参ろうとし、宗易は之を制して「それはなりますまゝだまれ、身は閑白であるぞ。河の珠光秀吉一行の乗物が粟田口の庵に着いたのはすでに八時下り(三時過ぎ)善輔は茶席の軒端に出て迎え、「殿下には、ようこそおこまい」と立ち上つた。御通り下され、茶漬飯などおせられれた。天下の名器平取金の飯、沢庵和尚伝の大高麗茶盃に平取金の飯。沢庵和尚伝の大根の漬物の味は殿下にはよし御存りあるまいと、あ上りなされ、と三疊台目の茶室に通され、以下次序

